

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構  
北海道新幹線建設局長  
竹津 英二 様

## 北海道新幹線 新小樽（仮称）駅 駅舎デザインに関する要望書



令和4年5月  
小樽市

日頃より、2030(令和12)年度末の北海道新幹線新函館北斗・札幌間開業に向けて御尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

北海道開拓の玄関口として発展し、現在は全国有数の観光地である本市にとって、新たな玄関口として新幹線駅の開業には大きな期待をしております。

駅舎デザインについては、2017(平成29)年3月に策定した「北海道新幹線新小樽(仮称)駅周辺まちづくり計画」における「駅舎デザイン方針」を基に、官民連携組織の「北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会・駅舎デザイン検討部会」において、来訪者に小樽らしさを印象付け、市民が愛着を持てる駅舎となるよう検討を重ね、このたび、デザインコンセプトを取りまとめました。

つきましては、地域の願いが込められたデザインコンセプト及び附帯意見に関しまして、今後の駅舎建設に最大限反映してくださいますよう、お願い申し上げます。

小樽市長 迫 俊哉

## 駅舎デザインコンセプト

**浪漫が薫る 温もりと心地よさを感じる駅**

**～まちの記憶を未来へ～**

新小樽（仮称）駅には、新たな小樽の玄関口として、また地域のシンボルとして、来訪者に小樽らしさを印象付け、市民が愛着を持てるデザインが望まれます。

明治から昭和初期にかけてつくられた運河や石造倉庫、銀行建築など、北日本随一の商都として栄えた面影を色濃く残す、大正ロマン・懐かしさが感じられるまちなみ。ガス灯・ランプ・ろうそくの灯りが醸し出す温もり。四季折々の変化に富んだ豊かな自然環境と調和する心地よさ。

このような小樽らしさを形成する歴史文化や自然環境を「まちの記憶」として駅舎に映し出し、後世へと受け継いでいきたい。

このコンセプトには、こうした小樽市民の願いが込められています。

# 附帯意見

## 全体

- ①小樽らしい要素を取り入れることにより、市民が駅舎に愛着を持ち、来訪者に再び訪れたいと思わせる印象的なデザインを検討していただきたい。
- ②「夏と冬」や「昼と夜」といった、季節や時間帯の違いによる見え方の違いにも配慮いただきたい。
- ③大きな壁面を持つ建築物であることから、周辺への圧迫感を軽減するデザインを検討していただきたい。(分節化やガラスによる抜け感などにより、軽やかな印象を与える工夫)
- ④正面以外のデザイン(保守基地(奥沢水源地側)及び信号通信機器室の外観、小樽有数のビューポイントである天狗山山頂から眺めた時の見え方等)にも配慮いただきたい。

## 歴史・文化

- ⑤北海道の玄関口として発展し、日本の近代化に貢献した小樽の歴史性(北海道最初の鉄道開業など)をデザインに取り入れることを検討していただきたい。
- ⑥雪あかりの路に見るろうそくの灯りや小樽運河周辺のガス灯、小樽駅にあるランプのように駅舎に温かみや柔らかな印象を与えるような開口部や照明を検討していただきたい。

## 新旧の融合

- ⑦新幹線の駅舎という未来感のあるものに、小樽の歴史や特徴をモチーフとして加え、新旧の要素が融合する中で過去と未来をつなぐ象徴となるデザインを検討していただきたい。

## 自然環境との調和

- ⑧周辺の自然環境と調和するように、石、レンガ、タイル、木材、鉄などの素材感がある外装材を検討していただきたい。

## 駅舎内部

- ⑨内部には、利活用された歴史的建造物に見られる落ち着き、レトロ感、居心地の良さなど、小樽らしさや市民とのつながりが感じられる空間づくりを検討していただきたい。
- ⑩内部には、後志産の木材の使用や小樽に関する作品を展示するスペースの設置など、小樽が感じられる仕掛けを検討していただきたい。
- ⑪外国人観光客や高齢者など、すべての人に使いやすいユニバーサルデザインを取り入れ、外国語表記やゆとりのある通路幅・扉の高さ・手すりの配置等に配慮していただきたい。



# 関連キーワード & イメージ



拡大写真はこちら

## (1) 小樽らしい要素 (小樽らしさ)

### ◆街並み

小樽運河



銀行建築 (色内銀行街)



石造倉庫



石 (軟石)



石畳



海、港



坂



出典：小樽市 (小樽観光写真ライブラリー、広報広聴課、新幹線・まちづくり推進室)

### ◆灯り

ガス灯



雪あかりの路 (ろうそくの灯り)



ランプ (小樽駅)



出典：小樽市 (小樽観光写真ライブラリー)

◆歴史・文化

炭鉄港（旧手宮鉄道施設）



（旧手宮線）



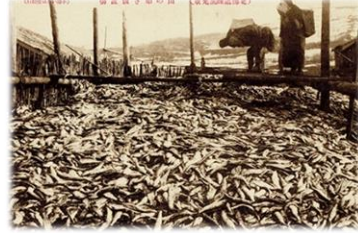
（旧高架栈橋、北防波堤）



北前船



漁業（ニシン）



鮭



ガラス



ガラス（浮き球）



ステンドグラス



出典：小樽市（小樽市総合博物館所蔵、小樽観光写真ライブラリー、広報広聴課、新幹線・まちづくり推進室）  
小樽観光協会ホームページ（浅原硝子製造所）、炭鉄港推進協議会

（2）周辺の自然環境

奥沢水源地



穴滝



天狗山からの眺望



（新駅予定地を望む）



新駅予定地周辺（夏）



新駅予定地周辺（冬）



出典：小樽市（小樽観光写真ライブラリー、新幹線・まちづくり推進室）